コミュニティーカフェ

人・地域のつなぎ場

ここに来ればやりたいことが見える、仲間が増える

- 地域の中心地に、人が気軽に立ち寄れるカフェ「茶論(さろん)」を設置
  (平成24年5月6日オープン予定)
- 地域情報、イベント情報を得るための「掲示板」常設
- 地域の人と知り合い、友だちになるための「会員登録」「友だち登録」が可能

成果

地域の中に、人と人、人と情報をつなぐ場所を「常設」した事により、「友だち」「絆」「生き甲斐」を見つける仕組みが構築された。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

ホームページの新設 http://www.ta-mago.com/

人・地域の絆をITで補完

地域の情報発信ができる、地域の小中学生も。

- 簡単に更新できる仕組みを作り、地域住民自身による運営を実現
- ホームページを中心に広報/広告を実施する事により、印刷コスト低減を実現
- 地域イベント情報発信、カフェ情報発信の他、地元の小中学生自身が寄稿するコンテンツを作り、子供達が主体的に参画できる仕組みを構築

成果

- 低コストで情報を発信する仕組みを構築し交流促進が期待される
- 小中学生が関わる場を作った事により、子供の考えを直接活動に反映できる

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

定期市開催による収益事業(試行開催中)

事業継続のための下地作り

・地元農作物の販売による資金確保を目的とし、実現に向け協議を進めてきたが、同時に発生した「柏市のホットスポット問題」「国による食品の放射能基準改定」により具体的な実践が実現できなかった

・平成23年度、農政部・地域農家と協議を進めた結果、今年度以降、地元野菜を**「放射能基準をクリアした安心・安全な農作物」**として販売するための道筋が見えてきた。

市場調査により作物品揃えが出来次第実施し、収益構造を構築する。

・同時並行で、コミュニティカフェを通じた**「地域住民が制作した作品」「地域製品」「障がい者施設の商品」**等の販売による収益構造も模索している。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

試行の中で見えてきたもの

成果、そして今後の展望について

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

- 組織・運営の仕組みづくり
  - 円卓会議、長老養成講座、まちづくりセミナー開催により、「地域で子供を育てる体制の組織化」、「スタッフが継続的に養成される仕組みづくり」が達成された。また、この試みの中で地域団体の協力体制が確立されるとともに、新たな人材の発掘にも成功した。
  - 具体的実践の中で、「子供を育て、生き甲斐を得られるイベント」のためのアイデア、ヒントを多数獲得することができた。
  - 何より、子供達が持つ能力を再確認し、大人が道筋を作れば、子供は地域の「宝(たから)」だけでなく、「力(ちから)」になる事が確認できたことが大きい。
- 運営の礎となる「場」の構築
  - コミュニティカフェを設立した事により、人々がリアルに繋がり、情報を得る場を確立した。
  - ホームページを設立した事により、人々が情報を得る場を構築するとともに、広告/連絡コストの低減に成功した。また、子供達が主体的に地域活動ができる場を構築した。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

今後の展望

- カフェを中心とした循環の仕組みの達成
  - 5月6日にオープン予定のコミュニティカフェを用い、情報・人材の交流を活性化させていく。**カフェを成功させる事が事業推進のための最重要ポイント。**
- イベントの実施とモニタリング
  - 子供を企画段階から参画させ、実施を任せる。大人はそれを見守る。平成23年度に効果を確認したこの仕組みを展開し、**子供を中心に据えたイベントを開催。**
  - **結果をモニタリングし、次のイベントにつなげる**ための仕組みづくりを行う。
- 収益構造の確立
  - **農作物販売をなるべく早期にスタートする。**また、これのみに限らず、ホームページ広告収入等、他の収益構造を検討実施する。
- 組織の新陳代謝
  - まちづくりセミナーを通じ人材を育成→育った人材を長老(コーディネータ)としてさらに養成。
  - 上記の導線を継続する事により、**現中心メンバーが一線を退いた後も事業が継続できる仕組み**を作る。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

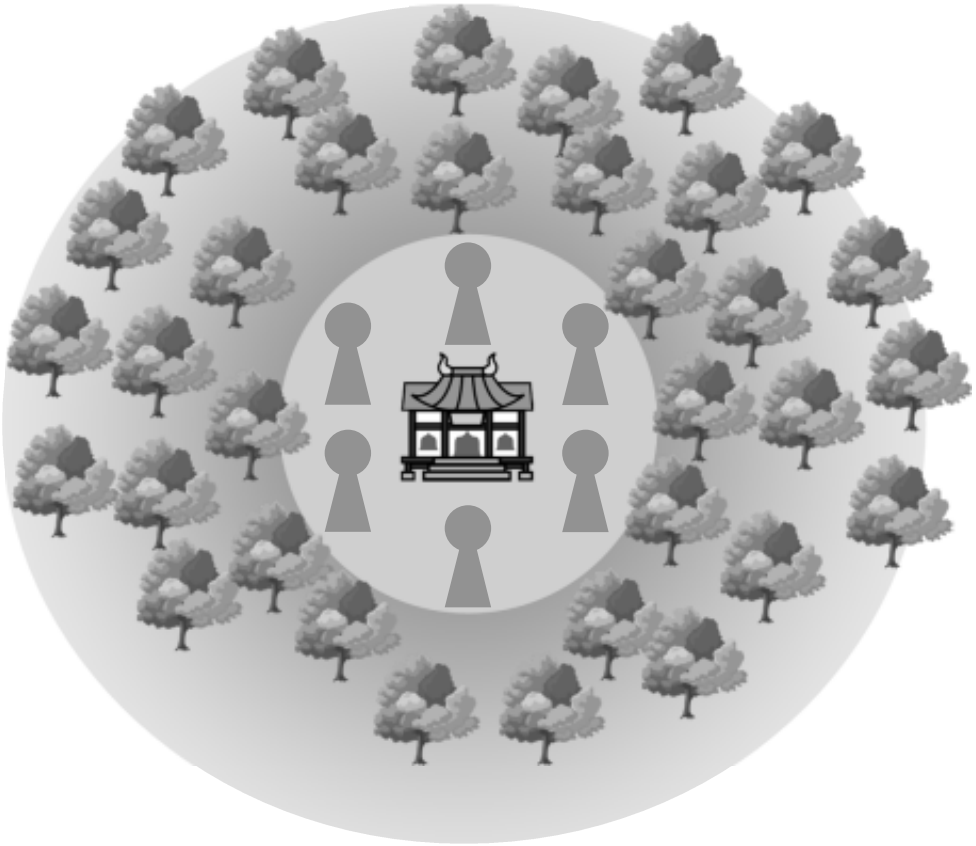
ここまで語ってきたのは、単に仕組みづくりでしかありません。
最後に、この仕組みにより、私たちが目指すゴールについてお話します。

私たちのゴール

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

かつての”鎮守の杜”

かつての”鎮守の杜”は、
鎮守様を中心に、
それを囲むように木々が森をつくり、
その中で子供たちが守られながら遊び、成長する場でした。



Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

私たちの”鎮守の杜”

私たちの”鎮守の杜”は、
「地域はひとつの家族」という思いを中心に、
我々大人たちが一本の木々となり、
子供たちを守り育むのです。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.

さいごに

「わたし」は木で、
「わたしたち」は森。
この森に、
多くの木が育つことを願います。

Copyright © 2012 多世代交流型コミュニティ実行委員会 All Rights Reserved.